

KAI TAKU vol.050 のがみ竣工特別号  
**海拓** Imoto Letter

編集・発行  
 井本商運株式会社『海拓』編集委員会  
 〒650-0035 神戸市中央区浪花町59番地  
 神戸朝日ビルディング19F  
 TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1610

# 670TEU型新造船『のがみ』竣工!!

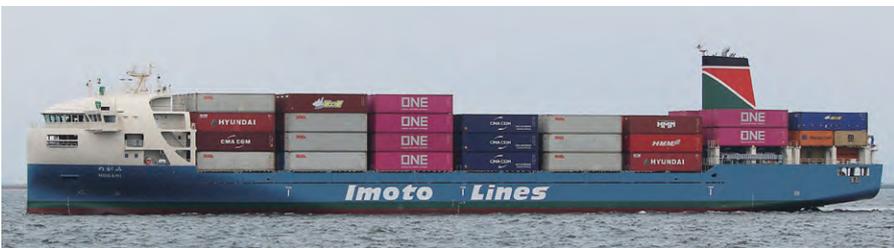
京浜～阪神～北部九州の定期航路に投入



祝賀会で挨拶する  
井本社長

当社は4月21日、山口県下関市の旭洋造船(株)において、670TEU型内航コンテナ船「のがみ」の命名引渡しを受け、京浜～阪神～北部九州の定期航路に就航させました。本船は2015年12月就航の1番船「なとり」、2018年7月就航の2番船「ながら」に続く3番船です。

命名引渡しはあいにくの悪天候でしたが、井本社長が「のがみ」と高らかに命名した後、支綱切断を行い無事に引渡しが完了しました。その後、下関市内のホテルで行われた竣工祝賀会の壇上において、井本社長は船名の由来や本船の特長を説明しました。「本船は先行船に比べ、省エネ性能や操船性能が大幅に向上しています。本船が就航したことで外航船社や国内荷主の皆様へ現在以上のサービスを提供できるようになりました。また、港湾局が推進するコンテナ国際戦略港湾では地方港からハブ港への集荷に貢献していき、さらに海事局の抱える環境問題や内航船員問題についても貢献できると確信しています。そのためにも、全社一丸となって取り組んでまいりますので、応援をよろしく願います。」と力強く挨拶しました。



「のがみ」主要目	
全長	136.48m
全幅	21.0m
総トン数	7,658トン
積載数	670TEU
冷凍コンテナ	120本
載貨重量	7,522トン

## 「のがみ」の竣工を祝って

祝賀会には**官庁、港湾運営会社、外航船社、荷主などの多くの関係者が参加**しました。来賓として、国交省の浅輪港湾局長より「サプライチェーン強靱化のために、さらなる国際コンテナ戦略港湾政策を進める必要がある。670TEU型船を活用したフィーダー航路網による戦略港湾への集荷に期待している」との挨拶を頂戴しました。同省の宮武海事局次長より「技術の粋を集めた最新鋭船」との評価を頂き、阪神国際港湾(株)の外園社長からは「『のがみ』は阪神港の宝船であり、日本の宝船となるであろう」との期待のお言葉を頂きました。乾杯の挨拶は、横浜川崎国際港湾(株)の人見社長より頂き、井本商運の常に挑戦を続ける姿勢を評価頂きました。中締めは(株)ジャパンエンジンコーポレーションの川島社長の力強い一本締めにより、お開きとなりました。



浅輪局長



宮武次長



外園社長



人見社長



命名引渡し出席者全員での記念写真

## 「のがみ」名前の由来は?

当社では新造船の船名について、社内で公募しており、400TEU型以上の船名については河川名から命名しています。

「のがみ」の由来となる野上川(のがみがわ)は、利根川水系、木曾川水系など有力河川の支流として複数存在します。この**有力河川の支流としての存在が、当社の業態に通じるため、命名されました。**



船名公募当選者  
営業部末松専任部長

## 清水船長インタビュー



この度は、新造船「のがみ」の船長という大役を仰せつかり、大変感謝いたします。本船には井本船隊としては2隻目となるゲートラダーが装備されました。また、スタンスラスター(船尾側に設置されたサイドスラスター)も併せて装備されたことにより、1番船「なとり」よりも離着岸における安全性が向上するものと期待しております。船長としては、まだまだ経験も浅い若輩者ですが、まずは安全運航に努めて参ります。



## 高宮機関長インタビュー

昨年10月1日に入社し、「なとり」へ乗船させて頂いておりました。その後、1月中旬より本船艤装のため、旭洋造船へと赴任しておりました。入社して1年も満たない新人ですが、新造船の艤装という、大役を任せて頂いた事は大変勉強になったと同時に、至極光栄な事でありがたく感じております。本船の主機は最新の主機関である「フル電子制御エンジン」です。まだまだ勉強中ですが、優秀な乗組員とともに、皆で切磋琢磨しトラブルの無いように運航して参ります。

「のがみ」が就航する  
京浜～阪神～北部九州航路



「のがみ」は京浜～阪神～北部九州航路に就航し、定曜日ウィークリーサービスの利便性強化及び省エネ化を実現します。

また国際コンテナ戦略港湾政策の一環として、国際フィーダー貨物を戦略港湾へより一層集荷するとともに、国内貨物(動脈・静脈)についても、国内定期航路を拡充させ、トラックドライバー不足等によるモーダルシフト需要に 대응していきます。



更なる省エネ化推進で神戸港活性化へ

670TEU型内航コンテナ船「のがみ」の竣工、誠にありがとうございます。本船は、近年課題となっている省資源化や内航船員の確保・育成に向けて妥協することなく、真正面から取り組まれた船であり、まさに貴社の経営理念である「挑戦あるのみ」を体現するものと存じます。

国際戦略港湾であり、貴社の母港ともいえる神戸港において、当社は今後も安全作業の追求、作業効率の向上の面から内航定期航路の発展に全力を協力してまいります。



商船運運(株) 実謙二社長

「のがみ」乗組員集合写真(於:神戸港)



「のがみ」の特長

居住区改良

船員室にはシャワー及びトイレを完備するとともに、新たに女性船員のための専用区画を設けました。

居室を定員数に10室追加し、実習室には大型モニターを設置するなど、乗組員の実習船としての機能を備えています。



ゲートラダー

プロペラ後方に舵がないため、省エネ性能が向上し、振動や騒音が低減しました。スラスターと連携することで、離着岸時の安全性と操船性が大きく向上しています。(かもめプロペラ)

流線形煙突

煙突の外形を四角形から、流線形にすることで、風圧抵抗の低減を図り、省エネに貢献しています。



垂直船首

同型船の「球状船首ブリッジ」に加え、「垂直船首」を採用することで、波の抵抗の低減により、省エネ性能が大きく改善しました。

フル電子制御主機関

従来の主機に比べ、低負荷での連続運転が可能となり、CO2排出量の削減に貢献します。(J-ENG/赤阪鐵工所)



各港で歓迎を受ける「のがみ」

門司港/4月21日

北九州港振興協会の石井専務理事より歓迎の挨拶を頂き、清水船長へ記念盾、高宮機関長へは花束が贈呈されました。また地元代理店の(株)上組、(株)ジェネック及び三井倉庫九州(株)より清水船長へ記念品が贈呈されました。



博多港/4月22日

福岡市港湾空港局の山嶋理事より歓迎の挨拶を頂戴し、福岡市港湾局及び博多港ふ頭(株)より記念盾、博多港運(株)から記念品が清水船長へ贈呈されました。



神戸港/4月25日



神戸市港湾局の松木副局長より「戦略港湾への更なる集荷と内航船員の確保及び育成に期待している」と歓迎の挨拶を頂き、清水船長に記念盾、高宮機関長には記念品を贈呈しました。阪神国際港湾(株)の中村常務執行役員と小笹営業部長が記念品を贈りました。

横浜港/4月27日



埠頭運営会社のAPMTの熊社長からは、共同記者会見で、「当ターミナルの取扱増大の為に、内航船との接続は極めて重要」と歓迎の挨拶を頂き、横浜市港湾局の菅谷港湾物流部長から清水船長に記念盾が贈呈されました。また横浜川崎国際港湾(株)の植松取締役副社長から高宮機関長へ記念品が贈呈されました。